

未来館における 学校団体向けプログラムのご紹介

～対話と体験を通して、科学のまなざしを育てる～

東京・お台場の日本科学未来館では、学校団体を対象に、科学コミュニケーターがファシリテーションを行う予約制プログラムを提供しています。展示見学に加えて、こうしたプログラムを体験してもらう事で、科学的な視点を通して身のまわりの出来事に問いを持ち、自ら考える力や探究心を育む機会として、ご活用いただければと考えています。ここでは、今年新たに加わったプログラムを中心にをご紹介します。

1 トークプログラム (30 分)

科学コミュニケーターの問いかけにより、参加者の意見や疑問を引き出しながら、科学的な見方やさまざまなテーマが社会とどのように関わっているのかを一緒に考えていくプログラムです。展示見学後の解説や質疑応答にも対応しています。



●『ねむねむ』リサーチ！ ～あなたの眠気とうまくつきあおう

誰にとっても身近な「眠気」をテーマに、体内時計や遺伝子など、これまでの研究で明らかになってきた科学的知見を紹介します。今なお謎の多い眠気のしくみに迫りながら、自分自身の眠気との向き合い方や、生活習慣を考えるきっかけとなるプログラムです。

●桃太郎、量子コンピュータに出会う

昔話の桃太郎が「鬼退治につれていく動物を選べたら？」というユニークな設定をもとに、次世代コンピュータとして注目されている「量子コンピュータ」を紹介します。量子の「重ね合わせ」や「量子アルゴリズム」といったキーワードを取り上げ、楽しくわかりやすく、量子情報科学の最先端に触れる内容です。

●お金は地球を救う……のか？ ～自然のめぐみに値段をつけるなら

花粉を運ぶ昆虫など、私たちの暮らしを支える自然の恵みに「値段」をつけたらどうなるのでしょうか。経済的な視点から自然の価値を考えてみることで、環境保全の仕組みやその限界に気づき、値段では測りきれない自然の価値にも目を向けるきっかけになるトークです。

2 ワークショップ (90 分) ・ 実験教室 (140 分)

科学コミュニケーターのファシリテーションにより、参

加者同士の対話や共同作業を通じて、科学的な考え方や実験手法を学ぶ体験型のプログラムです。探究的な学びと論理的思考を育む機会となります。

●ワークショップ「科学の考え方で未来を予想！～渡り鳥はどこを飛ぶ？」

さまざまな地球のデータにアクセスできる展示「ジオ・スコープ」を使って、渡り鳥の今と未来の動向を科学的に予想します。異なる情報から地球の変化と渡り鳥との関係性を把握し、参加者同士で話し合いながら自分なりの考えをもつことを目指します。予想に必要な情報は何かを考え、その情報から未来の可能性を探るプロセスを通じて、論理的思考力を養うワークショップです。

●実験教室「PCR ってなに？～大腸菌の遺伝子を比べてみよう～」

新型コロナウイルス感染症に関するニュースでよく耳にした PCR（ポリメラーゼ連鎖反応：Polymerase Chain Reaction）は、DNA を調べるために生命科学の実験で広く用いられている手法です。このプログラムでは、PCR の仕組みを学びながら、大腸菌の DNA を使って、見た目ではわからない遺伝子の違いを調べます。

◎その他の学校団体向けプログラムや、詳細・お申し込みについては、下記をご覧ください。

<https://www.miraikan.jst.go.jp/visit/group/programs/>

◎日本科学未来館へのお問い合わせ

03-3570-9151（受付時間：開館日の 10:00 ～ 17:00）

<https://www.miraikan.jst.go.jp/contact/>

